



# しずおか 県民児協だより

第18号

平成21年9月1日発行

〔題字：前静岡県知事 石川嘉延 書〕

編集発行 / 静岡県民生委員児童委員協議会 〒420-8670 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県社会福祉協議会内  
電話054-254-5224 FAX054-251-7508

## 頑張ってます 富士の主任児童委員



鉄棒人形



紙バンドのコマ

富士市民生委員児童委員協議会

山本 悦子

富士市民生委員児童委員協議会は、昨年11月に富士川町と合併し、22の地区民児協となり、主任児童委員は総勢44人です。

全員で取り組む活動で、こどもの日に開催される「ワイワイわんぱく源平台戦」は、子どもたちに野外で遊びを楽しんでもらう恒例行事で、私たちは「紙かぶと作りコーナー」を受け持っています。10月には福祉まつりがあり、子どもコーナーで手作りおもちゃ製作をしています。昨年度は紙バンドのコマと鉄棒人形を作り、「まわると模様がいかにだね」「何でくるくるまわらないのかな？」等、遊んでいる子どもたちの顔が輝いているのがとても印象的でした。その準備のために集まった際には事例研修をすることもあり、会話の中で悩み事を相談し、今後の活動に生かすきっかけになりました。活動を通して相談できることは、とても有意義だと思っています。

そのほかに各地区輪番制で行っている研修では、青少年相談所から講師を招いて不登校の生徒・児童が通っているステップアップスクールふじの説明を受けたり、保健師を招いて生命の尊さを伝える活動や子育て支援活動の一環として読み聞かせや工作といった具体的な活動も行っています。

全体で行う活動や研修のほかには、地区活動をしています。保育園・幼稚園・小学校への訪問や支援活動、まちづくりセンターで行われている子育て支援活動への参加協力、地域行事への参加、子育てサロンの開催等、各地区の特色を生かした活動が展開されています。しかし、これらの活動は全地区が同じように行っているものではありません。各地区の活動の差をどのように埋めていくかが今後の課題となっています。

これからも地区担当の民生委員と連携し、地域住民の方々と力を合わせ、子育て支援や個別支援、児童健全育成活動を盛り上げていきたいと思っています。

# 平成21年度静岡県民生委員児童委員協議会総会あいさつ

会長 天野隆玄

期日 平成21年6月2日(火)  
場所 グランシップ会議ホール「風」

本日は、大変御多用のところを大勢の皆様方に御出席いただき、誠にありがとうございます。そして県民児協及び全県児連の運営に御支援、御尽力をいただき、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

また、静岡県厚生部大須賀部長様をはじめ、御来賓の皆様方には公務御多用の中を御出席いただきありがとうございます。高い所からではございますが、厚く御礼申し上げます。

さて、私たちは一昨年、民生委員制度創設90周年記念大会において、100周年に向けた行動宣言及び活動強化方策を策定し、全国22万余の民生委員・児童委員は気持ち新たに、更なる活動の推進に努めることを示したわけでございます。「広げよう 地域に根ざした思いやり」をスローガンに、安心して住み続けることができる社会づくり、孤立・孤独をなくす運動、児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る運動等に取り組んでまいりました。

しかし、趨勢に恵まれずして、昨年来、米国発の厳しい社会情勢において世界中が責めを受け、最近では豚インフルエンザに侵され、トンと困った次第でございます(おわかりいただきありがとうございます)。(またヒブリーオ・バルニフィカス(人食い菌)とい

う感染すると1分単位で手足の筋肉が壊死し、数日以内に滅するという恐ろしい菌が新たに生まれたそうです。

一方では、警察庁の発表によりまして、昨年の30歳代の自殺者は前年より2%増で過去最高の48,500人に及び、10代は12%増の6,111人、20代は4%増の34,388人の方々が自分自身を追い詰めています。防衛医科大学校教授で精神科医の高橋祥友さんが朝日新聞に「学校での自殺予防教育に力を入れる必要がある。絶望の中にあっても命を絶つこと以外に選択肢がある。前兆としては、関心があつたことに対して興味を失う、投げやりになる、年下の子どもや動物を虐待する等々の変化が見られる。保護者や家族が当人の気持ちをじっくりと聴いてあげることが一番肝要だろう」とコメントを出しておられました。

このようなことからわかりますが、今までの民生委員・児童委員活動と近年の活動とを比べますと、内容がガラッと変わってしまいました。今までは物質面で何かを支援する、言い換えれば、表に出て来るような困難なことを持ち合わせた要援護者が多かったわけです。ところが最近では、精神面や自分の置かれていた環境内でのいるいろいろな問題が関係して困窮者となることが多

く、我々には、このような方々の相談・支援活動を行うための相談技法が一番必要となるだろうと思われま

今のような時代は、改革がないと向上はできませんが、広範囲での改革は、できることから改革していかないと全体を進めることはできません。部分的な改革や連携のない改革の中で矛盾や「とぼつちり」があちこちに出て来ます。我々民生委員・児童委員は、その矛盾をつなぎ合わせ、地域の皆様が安心して住める良き地域にしていくお手伝いをするのが任務であろうかと思ひます。長く福祉活動を行っている者には、これは福祉の分野、これは政治の分野というような論議があつたわけです。これからの福祉は、人間生活360度すべてに気を配ることになるかと思ひます。民生委員・児童委員は、専門家ではありません。地域住民の隣人としての立場しかありません。しかし、人々の支援やお話をするためには、360度の中で、できる範囲のことを把握する努力をする。一番大切なことは、バランスを取ることです。民生委員・児童委員の活動の姿勢は、地域住民としての活動であること、そして継続性、総括性があること。これからの民生委員・児童委員は、一住民としてすべてのことに気を配る努力をしていただいでちようどよいかと思ひます。これは決して一人でできることではございません。民児協の中でお互いが情報を共有し、研鑽を重ねていただき、自分がどうにもならないときには支援を仰ぎ、その人たちと共に地域を活性化することをお手伝いすることが必要となるかと思ひます。

精神対話士という立場の人がいます。その人たちの本には「言葉の表ではなく、その人が述べている言葉の裏、

その人が言わんとする真髓を汲み取る必要がある」と書かれています。

私たちの活動の根本は訪問です。自分の地域を訪問し、地域のいろいろな立場の、そして経験を積んだ方を把握していただくことです。以前、こういう立場の人がこうだったなあと自分の思い込みで突っ走ることが一番危険です。本人が何を言わんとしているのか、何を聞いてもらいたいのか、言葉の裏を汲み取っていただきたいと思ひます。

これから地域の皆様とあらゆる面、あらゆる所で共に活動し、地域の皆様の経験等を蓄積していただき、民生委員・児童委員活動に御利用いただきながら、今後の地域福祉に御尽力いただければと思つております。

本日は、この一年の事業方針、予算等々に関する大切な会議でございます。どうか皆様の忌憚のない御意見と英知、そして豊かな経験を持ちまして、この静岡県民児協が向上するようお力を拝借したいと存じます。何分どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。



# 東海地震から大切な命を守りたい プロジェクト「TOUKAI・0」の推進

大切なひとを守りたい

いつか必ず来る東海地震を向えたときに、自分の大切な家族、近所のおばあちゃんや子どもたちを私たちは守ることができるとはどうか？きちんと準備して守りたいのに、きちんとしてこなかったことで、大切なひと大事なものを失ってしまい、無念と感ずるのかどうか、この違いは非常に大きいと思います。

阪神・淡路大震災は死者6千4百名を超す大災害となりましたが、死因の約84%は住宅等の倒壊と家具の転倒によるもので、約5千4百名の方が地震の直後に亡くなりました。年齢構成をみると60歳以上の方が半数以上を占めており、その原因として高齢者は足腰が弱くとっさの避難行動が取れなかったこと、1階に生活することが多く倒壊した住宅が1階から倒壊したため押し潰されたことが原因のようです。

また、火災により500名以上の焼死者が発生しましたが、その多くの人たちは倒壊した建物の下敷きになり、逃げ出すことができずに火災に遭って亡くなっています。そして見逃せないことは、火災は建物の倒壊が多いところから発生し、それが延焼拡大の原因になっていることです。

生き延びるための第一歩

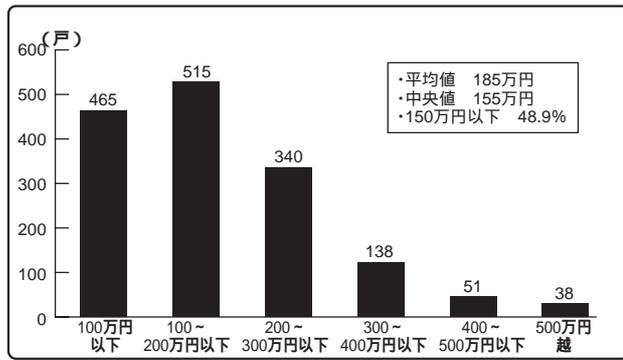
救うすべはたった一つ、それはあなたたちの命を瞬間にして奪ってしまつた住宅を事前に耐震補強する、家具を固定する、これ以外にはありません。これが阪神・淡路大震災における最大の教訓といえます。

静岡県は市町村と協力して、木造住宅の耐震化プロジェクト「TOUKAI・0」を推進しています。このプロジェクト名には、予想される「東海」地震で住宅の「倒壊」による死者をゼロに近づける、という意味が込められています。

対象とする住宅は昭和56年5月31日以前の旧建築基準で建築された木造住宅で、専門家による無料耐震診断、補強計画作成費への補助、耐震補強工事費への補助の3つの制度があります。の耐震補強工事費への補助は、30万円から市町によっては最高で80万円の助成が受けられ、また耐震補強工事を行った約半数は150万円以下の工事費で納まっているというデータもあります(図1)。最寄りの市町の窓口で電話一本で相談に乗っていただけます。様々な事情によりどうしても耐震補



(図2) 防災ベッド



(図1) 平成20年度の耐震補強工事費の分布

強工事が難しい方には、就寝中に地震に襲われたときに安全な空間を確保する防災ベッド(図2)や耐震シェルターもあります。さらに、寝室にタンスなどの大型家具を置かないことや、家具の固定を行うことも安全な空間を確保する上での第一歩です。

被災後も安心した支援を

幸運にも命が助かったとしても住宅が倒壊してしまったときには、不自由な避難所生活や孤独な災害復興住宅での生活が待っています。要援護者にとって、住宅の耐震化や家具の固定の実施により、被災後も環境を変えずに自宅で支援を受け続けられることは、家庭内安全対策を行う重要な理由の一つです。

日ごろの見守り活動をお願いしたいこと

民生委員・児童委員の皆様におかれましては、日ごろの見守り活動やネットワーク活動を通じて、地域コミュニティによる安否確認体制や支援体制の構築とともに、住宅の耐震化や家具の固定などの家庭内安全対策への取組みを、伝え広めていただきたいと思います。かけがえのない命を守るため、最悪の事態をしつかりイメージし、必要な準備を怠らないこと。「自らの命は自ら守る」、「自らの地域は皆で守る」ことが、今一人ひとりに求められています。

(静岡県危機管理庁危機情報課)

主幹 星野浩二(一)

# 地域づくりの担い手は一体誰？～民生委員活動の果たす役割～ 地区民生委員活動とこれから

島田市民生委員児童委員協議会

## 1 はじめに

5月29日、島田市民生委員児童委員協議会では、全員協議会を開催しました。今回の全員協議会は、従来の総会方式ではなく研修会方式として研修会一本に絞ることにしました。民生委員・児童委員の一斉改選から一年半が経ち、今までと違ったやり方で開催しようと検討した結果、福祉ニーズが変化する中で民生委員・児童委員活動が多忙化していることから、活動の参考となり役に立つことをと考えると、講演会を企画しました。

また、検討・協議を重ねていく中で、各地区で抱えている課題・現状を紹介してはどうかとの意見が出ました。その中で共通するもの、共感できるものがあり、参考になるのではないかという思いで、パネルディスカッションを企画しました。

## 2 基調講演

テーマ「地域づくりの担い手は一体誰？  
共創社会実現へのプロセス」  
地域福祉の推進と民生委員活動

第1部では、静岡県社会福祉協議会に永年勤務し、現在「静岡福祉文化実践研究所」の所長として活躍されている平田厚先生に御講演いただきました。講演会の主な内容は、次のとおりです。

福祉問題解決は、民生委員・児童委員活動だけで完結することなく、「市民の自助」が基本であり、「地域づくりの担い手は市民」をもとに、すべての領域の「共創」により、地域づくり実現に向けていく中で、改めて、「民生委員・児童委員活動の果たす役割」を確認していくこと。

「平成の大合併」により、むしろ、きめの細かい援助が必

要となっていることが現実であり、「小地域福祉活動」こそが大切であるということ。



「福祉は実践学」、「福祉はアイデアである」ということ。

「地域の理解」、「住民の理解」のもと、複雑多様化した民生委員・児童委員活動のこれか

らは、「民生委員の基本的性格」、「民生委員活動の原則」、「民生委員活動の7つのはたらき」をもとに、いかに「協働」による地域課題に向けた取り組みが必要かをそれぞれ原点に立ち再確認すること。

民生委員・児童委員活動としての「実践学」、援助の多様化、「アイデア」の検証

## 3 パネルディスカッション

テーマ「地区民生委員活動とこれから」

第2部では、島田市8地区の会長がパネリストとなり、平田先生にコーディネートをお願いし、各地区で抱えている課題、現状についてパネルディスカッションを行いました。

各地区からの内容は、

第一地区 「民児協（民生委員・児童委員）と自治会（自主防災会を含む）との連携」

第二地区 「一人暮らし高齢者への関わり・認知症の高齢者を持つ世帯への関わり・高齢者虐待が見受けられる世帯への対応について」

第三地区 「経済不況により



失職した三十代、四十代の生活困難者への対応について」  
 第四地区 「一人暮らし高齢者への対応について」  
 六合地区 「マンション・アパートで生活している高齢者等への関わりについて」  
 初倉地区 「小地域福祉活動の推進について」

金谷地区 「地域コミュニティの役割・小地域福祉活動の推進について」

川根地区 「高齢者世帯が多い限界集落での民生委員・児童委員の役割について」  
 というテーマでした。

それぞれの課題・現状に対して、平田先生からコメントをいただき、感じたこと、気づいたことがあり、いろいろと参考になりました。

中でも、民生委員・児童委員が日ごろの見守り活動の中で一番多いのではないかと思われる「一人暮らし高齢者の見守り活動」の話題は、非常に参考となるものでした。

身内や親族が近くにいない一人暮らしの高齢者が増加し、特に介護を必要としない高齢者の見守り、怪我や体力の衰えなどにより日常生活に手助けが必要である場合の対応についてなど、多くの話題が出ました。

一人暮らしの高齢者世帯が多くなってきており、土日に訪問しても、1件に30分以上かかってしまい、回りきれないのが現

状であること、昼間は出掛けていて夜間に訪問しなければならぬなど大変な業務であると感じていること、一人暮らしの高齢者は自分で何とかするという思いが強く、民生委員・児童委員の話聞いてくれないという悩みがあることが発表されました。

また、高齢者の夫婦は二人と



も元気であることは少なく、どちらかが病気・障害を持っていることが多く、一人暮らしの方は、火災・急病・災害時・夜間などの緊急時に連絡が取れないことが考えられるため、「ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業」を進めていること。そのほかにも数多くの制度があり、社協・ボランティアグループが実施している「高齢者ふれあいサロン」などのような高齢者が集う場所へ連れて行くことを実施している等、事例が紹介されました。

4 おわりに

今回の研修会が民生委員・児童委員にどのように伝わり、皆さんがどのように感じたのか。身近な話題から幅広い分野まで話を聞き、民生委員・児童委員としての役割、相談者への対応方法・関わり方など、参考になったところがあったのか。今回の研修会の成果が評価されるのは、今後の民生委員・児童委員活動に活かすことができたときだと思っています。

# ひろば

ハンキョウゼア  
Hang in There. がんばって



清水町民生委員児童委員協議会

鈴木 通保

わが民児協では、民生委員の歌「花咲く郷土」や民生委員音頭を活用し、また部会活動から生まれた清水町母子専婦福祉会50周年記念テーマソング(作詞・作曲 鈴木通保)も愛唱しています。皆様の民児協でも如何ですか。同じ釜の「飯」ならぬ「歌」もいものですよ。

### 1 陽が昇る坂道で振り返れば長い影

重たそうに歩くのはまるでアゲハチョウのようさ  
さなぎから抜け出してぬれた羽が乾いたら  
チョウはこれから空に舞う君もこれから空に舞え  
坂の向こうの空に舞え

Hang in There. がんばって 突然の雨も  
Hang in There. がんばって いつかは晴れる

### 2 胸を突く坂道にしがみついて一休み

肩で息してのぼるのはまるで夏のセミのようさ  
古い殻脱ぎ捨てて気がすむまで鳴いたなら  
セミはこれから空に舞う君もこれから空に舞え  
坂の向こうの空に舞え

Hang in There. がんばって どんな坂でも  
Hang in There. がんばって いつかはゴール

### 3 夕焼けの坂道で額に汗にじませて

赤く赤く染まるのはまるでアキアカネのようさ  
ひとすじの風の中羽をふるわせ枝の先  
とんぼはこれから空に舞う君もこれから空に舞え  
坂の向こうの空に舞え

Hang in There. がんばって 流した汗は  
Hang in There. がんばって いつかは光る

「Hang in There.」=くつがす「頑張れ」の意。  
ネット試験は<http://mickykeymusic.hp.infoseek.co.jp/>  
楽譜 CDやテープ希望者は御一報ください。

否定と肯定のはざま



長泉町民生委員児童委員協議会

朝妻 芳久

あるテレビ番組で、ホームレスの若者をNPO法人の同世代の人が支援しているという話題の中で、有識者が「20代は失敗の繰り返しでも、挫折の中から道が開けてくる」と励ましの言葉をかけたとき、支援者は「そういうことは簡単に言わないでほしい」とホームレスの若者の前ではつきりと否定した。

近年、雇用情勢の悪化や格差社会が広がり、生活困窮者の死亡という痛ましいニュースを聞くと、「甘え」と思えることも肯定し、福祉の増進と錯覚しそうな中で、確固たる信念を持ってサポートしていた人のあの否定の対応を思い出す。

以前、50代の娘さんの母親から娘さんのサラ金問題について相談があったとき、弁護士  
の御努力により高額な過払い金が返還された。  
私は、それまで滞納していた税金等の支払いを促すと、「プライバシーには口出ししないで」と思いがけない言葉が返ってきた。その後、  
社会生活の義務について説得し続け、納得された上で納入していただくことができた。

民生委員・児童委員として、地域福祉活動における肯定・否定の対応には、自分自身の力量が問われるが、微力でも地域社会が安心して生活できる一助になれるようにこれからも努力していく所存である。

地域に根ざした活動を



牧之原市民生委員児童委員協議会

栗山 清

牧之原市の今一番の話題は6月に開港した富士山静岡空港のことでしょうか。牧之原市民はもちろんのこと、各方面の方々の期待の中、陸・海・空の交通手段の一つである空の玄関が我が地の北部に完成、開港しました。

さて、昨年、牧之原市民児協では、他市町民児協との交流会を7回ほど持ちました。交流会の主たるテーマは「災害時 一人も見逃さない運動」の当市での活動や取組についてでした。平成18年の民生委員・児童委員の日に「要援護者の把握をしよう」と始まった要援護者台帳の作成には、調査が必要と思われる人、一人ひとりを民生委員・児童委員が訪問、説明をして歩きました。

こうして出来上がった「要援護者支援計画調査書」は民生委員・児童委員、自主防、市で共有しています。この調査書を基に平成20年度12月には、県下一斉の地域防災訓練時に自主防と民生委員・児童委員とが協力し、要援護者の方々への具体的な対応について検討し、訓練を実施しました。

まだまだ課題はたくさんあります。それぞれの地域性があるので、少しずつ検討を重ねて、安心して生活できる地域社会づくりに貢献、活動していけたらと思っています。

雑感



川根本町民生委員児童委員協議会

梶山 喜久雄

私の住む地域は、きれいな緑と水と空気が自慢で、長閑さが売りものの山間の小さな集落です。これっぽっちの犯罪もなく、のんびりして、お年寄りにとっては、こんなに住みよい場所はないだろうと自負していましたが、どうしてどうして、住環境は極めて厳しいのが現状です。10年前の戸数<sup>230</sup>戸が本年で15戸減の215戸になってしまいました。そして、今月私たちの地域からまた一人転居者が出ました。一人暮らし高齢者です。もちろん御本人は、お二人の息子さんが都市部で世間並み以上に立派に活躍しておりますし、その近くに住すればお互い安心して暮らせるから喜んでの転居でしょう。

しかし、民生委員・児童委員という大役を背負って11年、地域福祉の推進を担う役割からしてみれば、3年でも5年でも、1年でも長くこの地で暮らしたいと思ってくれるような手助けが、あるいは一人暮らしの高齢者でも安心して暮らせる環境づくりができなかったらどうかと、ついつい考え込んでしまいます。

限界集落といわれるのも間近な私たちの地域では、昨年度をもって女性の会が解散となりました。地域社会を形成するのに絶対に必要な「共に助け合い、共に支え合う」という気持ちの欠落が最大の原因のような気がしてなりません。

民生委員・児童委員の任務も同様、他人様の生活への介入の度合、加えてプライバシーの保護と情報開示との兼ね合い等々、難問題が山積みですが、充実した福祉社会の構築を目指し、もうひと踏ん張りする所存です。

求められる支援の様々



掛川市民生委員児童委員協議会

細川 勝美

掛川市の南部、太平洋に面した温暖な農村地帯に位置する第6地区民生委員児童委員協議会(旧大東町)は、主任児童委員を含めた民生委員・児童委員40名で活動しています。農村とはいえ、今では雇用促進住宅が4か所もあるほど工場が多くなり、そのため昨年暮れからの不況の煽りが吹きまくり、職を失い前途に不安を抱き、涙を浮かべた方々から心痛な思いを聞かされる現状です。

また、当民児協では、各専門部会活動が積極的に行われ、地域内の老人福祉施設3か所、障害児(者)施設2か所へ慰問や清掃、庭の手入れなどのお手伝いに出向いています。「ありがとう」と利用者の皆様に喜んでもらえることにやりがいを感じ、長く続けられている活動に更に意欲を湧かせます。そして足元福祉である地元住民からの相談や支援に対しても個々の要望に耳を傾けます。

「相談者は今、不安定な状況の中にいてどんな支援を求めているだろうか?その支援をどうしたら得られるのか?また得られない問題は?」など、難しいことに直面した場合は、私たち第6地区民児協では毎月の定例会時に、「一人で悩まないで、みんなで考えよう」と意見交換の場を設けます。委員相互の充実と知識の向上を求め、一人でも多くの人々に支援の手を差し伸べていけたらと願望し、住民福祉のため、なお一層結束し、民生委員・児童委員活動に努めていきたいと思えます。

民生委員・児童委員として



湖西市民生委員児童委員協議会

井川 あい子

湖西市民生委員児童委員協議会は、南部地区、北部地区合わせて民生委員・児童委員68名、主任児童委員4名が活動しています。

活動の一つである「いきいきサロン」では、一人でも多くの高齢者の方々に参加していただきたいの思いから一軒一軒お誘いにお伺いします。ふれあいの中で楽しそうに生き生きと目を輝かせて語り合っている姿を拝見するとき、ボランティア、地域福祉員の皆さんと喜びを分かち合います。

また、「災害時一人も見逃さない運動」では、見守りネットワークを立ち上げ活動を進めています。自治会役員、地域福祉員との連携を密にするとともに、向う三軒両隣の声掛けや日ごろのお付き合いが大切だと感じています。

10年前、前任者と一緒に一人暮らし高齢者宅へ安否確認にお伺いしたことが委員としての初めての活動でした。できることからとの思いで、登下校時の子どもたちへの声掛け、見守り活動、そして一人暮らし高齢者への訪問活動を始めました。子どもたちの元気なあいさつや高齢者の皆様のこやかでお元気な姿等に、心の中が温かくなるのを感じます。行政と相談にいられた方々との橋渡しをする中、多くの問題に直面するたびに学ぶことがあり、感謝しています。

今後、地域住民の方々が安全で安心して心穏やかに過ごせるようにと願いながら、民生委員・児童委員としての研鑽をし、見守り活動を続けたいと思えます。

# 平成21年度(第69回)関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会発表要旨 「民児協活動における守秘義務と個人情報の活かし方について」

静岡県民生委員児童委員協議会常任理事 小林 宏旨

## 1 焼津市の概要

静岡県中部に位置し、また東京と名古屋の中間に位置する水産都市で、焼津港、小川港、大井川港の3つの港を有しており、全国屈指の水揚げを誇っています。人口約14万3千人、世帯数約5万7百世帯、単位民児協数10、定数は、区域担当民生委員215人、主任児童委員21人、合計236人です。

## 2 民生委員・児童委員活動に必要な情報提供

### (1) 世帯家族調査への協力

地域住民が安心して安全に暮らせるまちづくりを推進するために民生委員・児童委員が果たす役割は大きく、援助を必要とする人(要支援者)の個人情報入手、管理、流通なくして活動は成り立ちません。

焼津市民児協では、地域住民の実情把握が支援の第一歩と捉え、世帯家族調査票を全世帯に配布し、記入提出をお願いしておりますが、調査票の提出は任意です。提出された調査票は各民生委員・児童委員が管理し、担当地区において要援助者等を状況別に分類の上、私たちは、それをもとに福祉票を作

成し、安否確認や友愛訪問、その他の支援活動等に活用しています(高齢者訪問活動、ふれあいネット、こんにちは赤ちゃん訪問など)。

### (2) 今後の課題

民生委員・児童委員活動は情報活動そのものですが、個人情報保護法の名の下に連携・協働が極端に制限されると、地域の福祉問題の解決が困難となり、民生委員・児童委員の役割自体が問われてしまいます。社会福祉活動のためであれば個人情報を取り扱ってよいかという要支援者との信頼関係の観点からすればそれもありません。民生委員・児童委員活動においては、この調和をうまく取ることが大切です。

また、地域住民や要支援者との信頼関係を築き、民生委員・児童委員活動を正しく理解していただくようPRに努めることが必要です。

## 3 心がまえ

### (1) 守秘義務の遵守

民生委員法の守秘義務を遵守し、個人情報に配慮した活動を行いましょう。

地域住民に対し「民生委員・児

童委員は厚生労働大臣から委嘱され、民生委員法により守秘義務を負って行政の協力的業務を行っている」ことを周知することが大切です。そして、必要な情報を得る努力をしましょう。定例会や研修会の場で守秘義務遵守を徹底しましょう。

### (2) 福祉票の管理や取扱いは慎重に持ち歩かない

外部に提供しない  
援助が終了した時点で破棄する  
本人の同意を得て記載し、うわさや伝聞は記載しない

顔が見える関係や信頼関係を築くことができれば、自然に情報を得ることができるようになります。

### (3) 地域住民との信頼関係づくり

また、日ごろの見守りや訪問活動の積み重ねが「災害時一人も見逃さない運動」の取組につながります。

### (4) 最後に

笑顔・・・ニコニコと面談する  
しゃべらず・・・守秘義務を遵守する  
ほどほどに・・・自立の精神を促す

## 編集後記

先ごろ、県内市町別高齢化率が静岡県から発表されました。これによりまずと、県内のトップが川根本町で40.7%、最後が裾野市で18.0%となっていて、県平均は、22.4%だそうです。

さらに、高齢者だけで構成する世帯は、総世帯数の16.9%を占め、一人暮らし世帯は8.6%、夫婦のみ世帯は7.6%、また、本県の高齢化率は、団塊世代が65歳以上になる2015年には27.6%、2020年には30.1%になると予想されています。

このことから、現在も使われている日本の標準世帯の親と子ども2人の4人世帯の考え方は、完全に崩れ、一人暮らし・夫婦のみ世帯が、言わば標準世帯になるつとめています。

これに伴い、「私たち民生委員・児童委員が関わる」支援を要する地域住民は確実に増加し、これら地域住民の生活上の問題や孤立、孤独といった精神上的の問題等が私たちの肩に大きく押し掛かって来ることは明らかだと思えます。

このようなことを考えるとき、私たちの活動は、従来の要支援世帯に対する個別的支援活動あるいは委員一人の考え方による支援活動だけでは不十分で、地区民児協による組織的活動(取組み)や地域における関係機関・団体などとのネットワークを構築する中で民生委員・児童委員活動の必要性、重要性はますます増加していくのではないでしようか。(磯部)